B-5* 「ルネサンス時代におけるファーチンゲールの機構とその社会史的意義」

埼玉大学　丹野　　郁

ルネサンスの運動は，服飾史の上にも劃期的な変化を齎らさずにはおかなかった。女子服においては，ファーチンゲールとコルセットという，体型を異常なまでに変化させる一種の道具の出現であり，男子服においても，これに影響されてさまざまな変化が現われた。国土の発見や多くの発明が展開されるという希望に満ちた時代に，服装も飛躍することは，当然のことであるし，恰もこれが隆昌の頂点を歩むスペインに生まれたことも何ら不思議なことではない。これらの道具によって形作られる豊かなシルエットと，惜しげなく用いられた豪華な布地は，スペインの好景気を反映し，これに憧憬をもつ欧洲各地へと速かにひろまって，当時代を飾ったのである。ファーチンゲールが，その後三百年の間，根強い力を以て流行し，今もなお余韻をとどめていることを思うにつけても，その機構を知り，出現した動機を，主として社会史的見地から探求することは，興味深いことと思う。